

# 京都大学医学部附属病院を受診される患者さんへ

研究課題名

## 尿中肝臓型脂肪酸結合蛋白測定の有用性に関する研究

尿中肝臓型脂肪酸結合蛋白 (liver-type fatty acid binding protein、以下 L-FABP) は、近年注目されている腎機能マーカーの一つです。従来の腎機能マーカーと異なり、腎障害が起こる前に検出できるため、腎疾患の早期診断に役立つとされています。今回の研究では、新しく販売された L-FABP 測定試薬の性能を評価します。また、従来の腎機能検査項目との関連性を調べることにより、L-FABP の有用性や従来検査との効果的な検査組み合わせを検討します。

研究の対象者は、京都大学医学部附属病院を受診された患者さんを対象とします。研究に使用する尿は、医師により依頼があった検査の残りの尿を使用します。残尿は匿名化をしてから使用し、個人情報を守ります。また、カルテよりお薬や他の検査結果などの情報を集めますが、これも個人情報を保護するために名前や個人を特定できるような表示は一切いたしません。この研究には 2016 年 3 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までに検査依頼のあった尿を使用します。この研究にご承諾いただけない場合は、下記連絡先までご連絡ください。ご承諾いただけない場合でも、患者さんが治療を受けられなくなるなどの不利益を受けることは一切ありません。また、この研究についてご質問がある場合、他の研究対象者等の個人情報等の保護、研究に支障がない範囲で研究に関する資料開示も可能ですので、ご相談ください。

(\*) 上記につき、京都大学の医の倫理委員会の承認を受けています。本研究は、積水メディカル株式会社との共同研究であり、研究資金は積水メディカル株式会社により負担されます。この研究結果に対して利益の影響は発生しません。

京都大学医学部附属病院 検査部 システム部門

西山 有紀子 (検査部副技師長)

北井 陽子 (臨床検査技師)

TEL : 075-751-3484

京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛

TEL : 075-751-4899

E-mail : [trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

研究責任者: 京都大学病院 臨床病態解析学講座 臨床病態検査学

一山 智

2017 年 8 月 2 日